

令和８年度第１回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議

議事要旨

日 時	令和8年8月17日（月） 午前10時30～午前12時10分		
場 所	碧南市役所 7階 議員大会議室		
出席者 ■出席 □欠席	推進会議 委員	■小池市長 □石川委員 ■横山委員 ■藤浦委員 □磯貝委員 ■細川委員 ■小松委員 ■岩崎委員 ■山田委員 ■小塚委員 ■安藤委員 ■太田委員 ■天野委員 ■鈴木委員 □神谷委員 ■高須委員	
	事務局	生田企画財政部長、山本企画政策課長、杉浦企画政策課長補佐、神谷主査、小林商工課長、伊藤農業水産課長、中川環境課長	
傍聴者	0名		
次 第	1 市長あいさつ 2 第3期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 3 官民連携事業について 4 意見交換		
1 市長あいさつ	○市長よりあいさつ		
2～4	○本日の議事録及び資料は市のホームページで公開することを説明 ○2から議長（市長）により進行、事務局から資料説明 ○4意見交換により聴取した内容は以下のとおり		
委員からの主な発言			
次第4への意見			
高須委員	○旭地区において個人商店が減少しており、高齢者等が自家用車を利用できなくなった場合の買い物手段に不安がある。また、ドラッグストア等の出店時に、野菜や肉などの日常的な食料品を扱う店舗機能があると助かる。 ○池下公園周辺では、子どもの利用が多い一方で、路上駐車や急な飛び出しへの懸念があるため、駐車場確保等の対応が可能か確認したい。		
事務局	○くるくるバスについては市内を広く運行し、徒歩圏内にバス停を設置する考え方で進めているが、本数やバス停までの移動など課題があると認識している。デマンド交通についても今後の検討課題として捉えている。公園の駐車場については、地元利用を想定した公園であり駐車場を設けていないと考えられるが、担当課に確認させていただく。		

鈴木委員	○ごみ袋有料化について、広報よりも先に噂が広がっていた。周知の時期が遅かったのではないか。 ○不登校の児童生徒が卒業後にどのような状況にあるのか、市として把握しているか。 ○日本語初期指導教室の内容や対象はどのようなものか。
事務局	○ごみ袋有料化は令和8年3月開催の市議会で条例が可決された後に広報する必要があったため、事前周知が難しかった。今後も広報紙等で継続して周知していく。 ○不登校支援については、重層的支援体制の中で切れ目のない支援を進める必要があり、社会福祉協議会や福祉課等で連携して支援していきたい。 ○日本語初期指導教室については、主に日本語の理解が難しい外国籍児童等を対象とした取組であり、学期ごとに2地区ずつ実施している。
天野委員	○AIによる業務効率化や生産性向上の可能性について、市の取組状況やセキュリティ対策、活用方針はどのようなものか。 ○IoT技術を活用した河川等の水位監視、避難所開設時のスマートロック活用など、防災や職員負担軽減に資する取組状況はいかがか。
事務局	○生成AIについては職員が利用できる環境を導入しており、利用している職員には業務時間の短縮等の効果があると認識している。今後の導入内容や利用範囲についても検討していく。セキュリティについては、研修等を実施しているものの、引き続き取り組む必要があると認識している。 ○IoTについては、現時点で水位センサー等の活用はしていないが、公共施設のスマートロック化など、活用できる可能性のあるものは今後研究していく。
太田委員	○市内企業に勤務する若手従業員が、勤務地の変動等を踏まえて近隣市に居住する傾向がある。碧南市に住む魅力を高め、発信していく必要がある。安全・安心の観点から、碧南市に入るためには必ず橋を渡るので、橋や主要幹線道路への防犯カメラ設置等により、犯罪抑止効果を高め、碧南市は安全だとアピールしていきたい。そこで、現在の防犯面での取組状況を伺いたい。
事務局	○市では防犯カメラ設置に対する補助を行っており、街頭防犯カメラ設置箇所数について目標達成に向けて取り組んでいる。橋や主要幹線道路への設置については、地域協働課や警察等との協議が必要になると考えられるため、意見を担当課へ共有する。
安藤委員	○ハローワーク碧南における求職者の状況は、新規求職者は減少傾向にある一方、外国人や高齢者の相談が多く、就職に結びつきにくい現状がある。また、地元企業への就職件数が減少し、近隣市へ流出する傾向が見られることから、商工会議所と共催する就職フェアを契機に、今後は市も含めた「オール碧南」で地元企業への人材定着に取り組むたい。併せて、シニア世代の就職相談窓口や高齢者雇用への理解促進について周知協力をお願いしたい。

小塚委員	○特殊詐欺やロマンス詐欺、偽警察を名乗る詐欺など金融犯罪の相談が増加しており、若い世代にも被害が広がっていることから、市としての情報発信や啓発の取組状況について伺いたい。 ○外国人住民が銀行口座を開設する際、日本語での説明理解や手続きに課題がある。市として、就職世代を含む成人向け日本語支援についての取組があれば伺いたい。 ○碧南中央駅前の空きテナント等について、駅前のにぎわい創出に向け、前向きに動きがあれば伺いたい。
事務局	○金融犯罪に関する市の周知は十分でないため、地域協働課や警察との連携も含め、意見を共有する。 ○外国人支援については、市役所では通訳対応や通訳システムを導入しているが、銀行の口座開設等の支援は行っていない。成人向けの日本語教室は友好親善協会により定期的に開催されている。 ○碧南中央駅前については、市としても課題を認識しており、名鉄との情報交換等を通じて、建物の活用可能性やテナント条件等について確認していく。
横山委員	○現状報告として、商店街自体、またその加盟店数が減少している。現在はアジア競技大会を応援するバナー掲出、碧南ワクワクーポン事業へ参加している。今後は商店街オリジナルバナーの掲出及び人気投票、年末年始のスタンプラリー形式の大売り出しなど、商店街活性化に向けた取組を実施していく。また、中学校上履きについて、防災時の避難等を考慮した靴型のものへ変更していくと伺っている。 ○デジタルクーポン事業について、国の交付金が今後も見込めるか、市としてデジタルクーポンを継続実施する考えがあるか伺いたい。
事務局	○国の交付金については例年 11 月から 12 月頃に示されることがあるが、今後の交付の有無は未定である。交付金があった場合でも、実施事業についてはその時点での状況や様々な要望を踏まえて判断していくことになる。
藤浦委員	○碧南市内の農業の状況として、南部ではにんじん、たまねぎ、トマト等、中部では切り花、落花生、赤しそ等、北部ではいちじく等が栽培されている。お米については、昨年の高値では消費者の皆様にご迷惑をおかけしたが、今年は大暴落という話で、農家としては厳しい状況である。 ○農道沿いの草が伸び、見通しが悪く事故の危険があること、雑草が害虫の越冬場所となり、防除しても再発生する課題があることから、草刈りや関係団体との連携により対応していただきたい。
事務局	○草刈りが必要な場所について現場を確認すること、害虫対策については、JA等の関係団体と連携しながら、発生抑制に向けた体制整備を進めたい。
細川委員	○中部地方整備局衣浦港湾事務所に配備されている清龍丸による熊本地震への災害支援活動についての報告。発災後、支援物資輸送や給水・入浴支援に備えて早期に準備を進めた結果、飲料水、食料等を積み込み、八代港へ向けて出航した。現地では支援物資の引渡し、給水車への給水支援、船内浴室を活用した入浴支援（2 日間で 173 人）を実施した。過去の経験も踏まえ、今後も円滑な支援体制の整備に努めていく。

小松委員	○民間提案制度について、他自治体でも実施されている取組であり、行政内部の議論だけでは解決策が見えにくい課題に対し、民間の知見を活用する有効な仕組みであると感じている。特に、町内会加入促進や消防団員確保など、多くの自治体が課題としているテーマを民間提案の対象とすることは効果的であり、今後の提案内容に注目している。
岩崎委員	○総合戦略の指標に関連して、公園愛護団体数が減少していることについて、担い手の高齢化等を踏まえ、次世代や、地域貢献意欲のある住民が参加しやすい仕組みづくりが必要であると考ええる。また、先ほど話に出た商店街の空き店舗や碧南中央駅前の空きスペースについて、創業意欲のある若者等とマッチングさせていくことが重要だと考える。さらに、避難所となる体育館について、医療的ケア児が避難する場合には電源確保や停電時の発電機対応が重要であり、空調整備と併せて検討が必要だと感じている。
山田委員	○日本政策金融公庫の利用者は小規模事業者が中心であり、地域経済活性化には事業者数の減少を防ぐこと、事業承継や創業支援を進めることが重要である。愛知県内では創業融資件数・融資額が伸びており、若い世代が創業を働き方の選択肢の1つとする動きがあると考えられる。創業後に事業を継続・発展させるため、市としてどのような支援を行っているか質問したい。 事務局から、商工課では創業チャレンジ補助金を実施しており、活用者については創業後の状況報告を受けていること、創業から一定期間経過後に事業拡大を希望する場合には、事業拡大のための補助制度を案内していることを説明した。
事務局	○商工課では創業チャレンジ補助金を実施しており、活用者については定期的に創業後の状況報告を受けているおり、創業から一定期間経過後に事業拡大を希望する場合には、事業拡大のための補助制度を案内している。